

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-507742(P2005-507742A)
 【公表日】平成17年3月24日(2005.3.24)
 【年通号数】公開・登録公報2005-012
 【出願番号】特願2003-541505(P2003-541505)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

A 6 1 L 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月18日(2005.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトの眼内に移植するための眼内レンズであって、該眼内レンズは、
(a) レンズ光学系であって、該レンズ光学系は、(1) 光学系周辺部によって規定される、対向する前部表面および後部表面、ならびに(2) 該前部表面から該後部表面へと延びる光学軸を有する、レンズ光学系；ならびに
(b) 少なくとも第1の端部および第2の端部であって、該光学系周辺部の領域に形成され、ここで、該光学軸に対して、該第2の端部は、該第1の端部の半径方向外側に位置し、該第1の端部は、鋭く、該光学系後部表面と第1の周辺壁との交差部によって規定され、該第1の端部は、該光学周辺部のほぼ全体の第1方向および該後部表面から該前部表面に向かって第2方向に延び、ここで該第2の端部は、第2の周辺壁と第3の周辺壁との交差部によって規定される、端部
 を備える、眼内レンズ。

【請求項2】

前記第2の端部に隣接して取り付けられた位置決め手段をさらに包含し、該位置決め手段は、前記眼内レンズを前記ヒトの眼に適切な位置に位置決めおよび維持するように作動可能である、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項3】

前記位置決め手段は、1つ以上の捕捉部を備える、請求項2に記載の眼内レンズ。

【請求項4】

前記第2の端部の少なくとも一部分は、湾曲部を有する、請求項1に記載の眼内レンズ
 。

【請求項5】

前記レンズは、前記前部表面と前記後部表面との間で最大厚みを有する、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項6】

前記第1の周辺壁は、前記光学軸に実質的に平行にある、請求項1に記載の眼内レンズ
 。

【請求項 7】

第 3 の鋭い端部は、前記第 2 の鋭い端部の半径方向に外側の前記光学系周辺部に形成される、請求項 6 に記載の眼内レンズ。

【請求項 8】

前記第 3 の鋭い端部は、第 4 の周辺壁および第 5 の周辺壁によって規定され、該第 4 の周辺壁は、前記光学軸に実質的に垂直にあり、該第 5 の周辺壁は、該光学軸に実質的に平行にある、請求項 7 に記載の眼内レンズ。

【請求項 9】

前記第 2 の端部は鋭い、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 10】

前記第 2 の周辺壁は、前記後部表面の少なくとも一部に実質的に平行にある、請求項 1 に記載の眼内レンズ。